

令和3年度 始良地区歯科医師会学会

【会員発表】

「歯科医院でできる顎関節症の診断と治療」

始良市 すみだ歯科医院

院長 角田 隆規 先生

【特別講演】

「生体に学ぶ～骨リモデリングに同調し骨組織の再生を促す人工骨補填材の創製～」

福岡歯科大学歯科医療工学講座生体工学分野

都留 寛治 教授

※例年開催しております学会後の忘年会につきましては、本年度は中止といたします。

※講師の都留先生は福岡からLive配信となり会場にはご不在ですのでご了承下さい。

※特別講演は日歯生涯研修の対象となります。会場参加の方はICカードをご持参ください。

オンライン参加の方は事前登録時に日歯IDをご入力ください。

◎日時：2021年12月4日（土）15時00分～ 申込締切：11月20日（土）

◎対象：鹿児島県歯科医師会会員

◎費用：無料

◎方法：会場（始良区歯科医師会館：定員30名）と
Web会議ツールのZOOMを利用したオンラインセミナーの
ハイブリッド方式

◎申込：会場参加希望の方は下記にご記入の上FAXをお願い致します
オンライン参加希望の方は裏面もご参照の上、
下記URLもしくはQRコードより事前登録をお願い致します
申込者へは当日までに参加URLをメールでお送り致します
完全事前登録制になります

*受付URLは入力間違いの可能性もあるため、QRコードでの読み取りを推奨いたします

受付専用URL

<https://qr.paps.jp/ux7yo>

申込専用QR



公益社団法人 始良地区歯科医師会
霧島市溝辺町麓字松ヶ迫872番地2

電話 0995-58-4388

Mail aira-kda@po3.synapse.ne.jp

◎協力：株式会社ジーシー

◎主催

＜始良地区歯科医師会事務局行＞（FAX 0995-58-4389）
始良地区歯科医師会学会に参加します。

（ 歯科医師会）氏名

Webセミナー受講方法

「Zoomなんて使ったことがないから、よく分からない！」
Zoomは、参加するための手間が少ないので、オススメです。

パソコンで受講の場合

手順①

Zoomウェビナー事前登録後に確認メールが届きます。
確認メール内の「[ここをクリックして参加](#)」をクリックしてください。
Zoomがインストールされていない場合はパソコンにZoomがダウンロードされます。
(ダウンロードが自動で開始されない場合は、「[Zoomをダウンロードして実行してください。](#)」をクリックして下さい)

ダウンロードが終わった後は「開く」をクリックして下さい。Zoomがインストールされ、そのままミーティングに参加できます。

手順②

「コンピュータでオーディオに参加」というボタンが出てきた場合、これをクリックして下さい。



スマホで受講の場合

手順①

あらかじめZoomアプリをインストールして頂き、
確認メール内の「[ここをクリックして参加](#)」をクリックして頂くと参加できます。
Zoomアプリはフリーでダウンロード可能です。

☆注意事項☆

- ・ WEBカメラ、マイク機能はOFFに設定させて頂いております。
- ・ 登録頂きましたメールアドレス宛に招待メールが自動送信されます。
お間違い無いようご注意ください。
(ドメイン・指定受信・本文にURLがあるメールの受信などの制限をかけている場合、Zoomからのメールを受信できない場合があります。)

<特別講演>

【演題】「生体に学ぶ～骨リモデリングに同調し骨組織の再生を促す人工骨補填材の創製～」

【演者】福岡歯科大学歯科医療工学講座生体工学分野 教授 都留寛治先生

【抄録】

超高齢化社会の到来に伴い、整形外科・口腔顎顔面再生・再建治療の重要性が急増しており、当該治療に求められる生体材料も変革を求められています。

事故や疾病で失われた骨組織の再建には主に自家骨が用いられますが、骨量・骨形態の制限や健全部位への侵襲などの問題を抱えています。従って、自家骨が不足する場合は人工骨補填材を併用して骨再建するのが主流です。

現在、臨床応用されているセラミックス人工骨補填材の代表例はハイドロキシアパタイト(HAp: $\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6(\text{OH})_2$)とβ型リン酸三カルシウム(βTCP: $\beta\text{Ca}_3(\text{PO}_4)_2$)です。HApは優れた骨伝導性を示しますが、生体内で吸収されにくいのが欠点です。一方、βTCPは生体内で吸収されますが、HApに比べると骨伝導性に劣ります。また、βTCPは骨欠損サイズが大きくなると骨置換率が低下するといった臨床報告がなされており、材料の吸収と骨形成のバランスを制御することが新規人工骨補填材創製の鍵と考えられます。

演者らは「生体に学ぶ」を主なテーマに掲げ、骨組織の化学組成や結晶性に近い、炭酸イオンを含有したアパタイト人工骨補填材を創製しました。本講演では、材料設計と合成法を概説するとともに、骨伝導性と骨置換性についてHApやβTCPと比較した結果をお示しし、本人工骨補填材の優位性を紹介します。

【略歴】

1994年3月	岡山大学工学部 卒業
1996年3月	岡山大学大学院工学研究科(修士課程) 修了
1996年4月	日本学術振興会特別研究員(DC1)
1999年3月	岡山大学大学院自然科学研究科(博士課程) 修了
1999年4月	岡山大学工学部 助手
2006年4月	日本学術振興会特定国(英国)派遣研究者 在外研究員 ケンブリッジ大学およびアバディーン大学(～2007年3月)
2007年4月	岡山大学大学院 助教
2008年4月	九州大学大学院歯学研究院 准教授
2017年7月	福岡歯科大学歯科医療工学講座 教授

<会員発表>

【演題】「歯科医院でできる顎関節症の診断と治療」

【演者】すみだ歯科医院 院長 角田隆規先生

【抄録】

顎関節症はいくつかの障害を包括した診断名である。そしていくつかの病態に分けられる。顎関節症を疑う患者が来院した場合、多くは歯科医院での初期治療で軽快する。しかし、高次医療機関へ紹介すべき症状もあり、治療を長引かせないためには的確な病態の把握が重要である。

日本顎関節学会では最新版として顎関節治療の指針2020を公開している。

これを参考にすることにより診断が可能になる。治療方法においては薬物療法・スプリント療法・理学療法が初期治療で推奨され、近年は理学療法の中の運動療法が重要視されている。また、診断においては顎関節症様の症状を生じる他の疾患があり、鑑別が必要である。

顎関節症はまれな疾患ではないが、患者から何科を受診すればいいかわからないという不安な声をよく聞く。歯科医院で顎関節症の診断と治療ができることをもっと広められれば、患者に安心感を与えられるものとする。

【略歴】

1967年長崎県生まれ
1995年鹿児島大学歯学部卒業
1995年佐賀医科大学(現 佐賀大学)医学部歯科口腔外科学教室入局
熊本県での勤務医を経て、2001年すみだ歯科医院開業